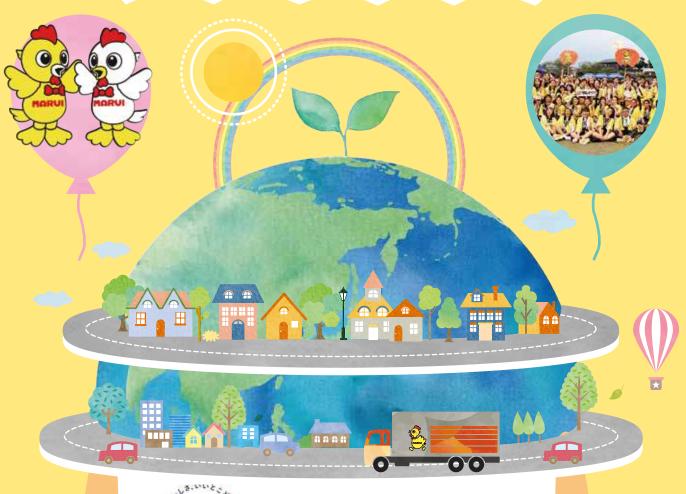


# CSRレポート 2024

マルイ食品株式会社の社会的責任活動報告 - 2023年度の報告 -







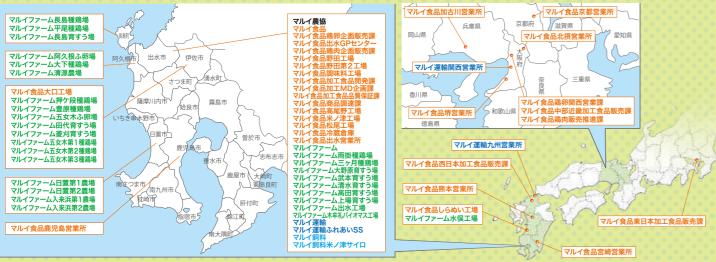
マルイのたまご



② マルイ食品株式会社







マルイ食品株式会社の鶏卵・鶏肉・加工食品の原点は、 自分たちの生産物は最後まで自分たちで責任を持って消 費者にお届けするという思想です。

ひなの生産、飼料の製造、鶏卵・鶏肉の生産から処理 加工、販売、物流、環境保全型エコロジー産業までを含 めた養鶏のインテグレーターとして、お客様に安全で 安心できる商品をお届けしています。

**キューブエッグ** (洗卵、殺菌、選別、パッキング)

採卵 (貯卵)

検査・出荷

生產者 (産卵)

育すう場

鳥卵事業

ふ卵場

組合員お届け

**処理場** (中抜き、食鳥検査、大ばらし、カット、バッキング)

事業紹介

(原料前処理・調味・加工・パッキング)

捕鳥(出荷)

農場(飼育)

農場(入すう)

ふ卵場

検査・出荷

初回製造品検査

検査・出荷

生協・問屋

ラインテスト

生協・問屋

設計・試作

種鶏場

組合員お届け

ニーズ・市場調査

組合員お届け

#### **CONTENTS**

トップ方針挨拶····· P4
食品安全方針·····P6
環境方針······P10
・地域貢献について ·····P12
・健全な職場環境の維持・推進についてP13
行動指針·····P14
会社概要······P15

2 マルイ食品株式会社 CSR レポート 2024 マルイ食品株式会社 CSR レポート 2024 3



何かを問い続け、それらを全うすることに努めてまいります。 マルイ農協グループでは基本方針の一つとして、働く人 の「ウェルビーイング」の実現を掲げています。老若男女、 国籍などを問わず、すべての働く人が心身ともに、また 社会的にも良い状態である職場環境をつくるとともに、地域 社会との共生、コンプライアンスの徹底に努め、皆様に信頼 されるエシカルな商品をお届けします。

> マルイ農協グループ 代表 高松 信吾









私どもマルイ食品株式会社は、鹿児島県出水市に本拠を 置く養鶏専門農協のマルイ農協を母体とする地場企業であり、 設立以来常に地元とのつながりや地域環境への配慮を意識 しつつ、活動してまいりました。近年にはコロナ禍の中、地 元自治体へのマスク等の寄贈。毎年地域小学校への図書贈 呈、子供食堂への食材提供等の活動を続けています。昨今の SDGs 活動もこうした日頃から意識している活動のいわば拡 大版として取組みを強めているところです。

マルイ食品株式会社の責務は、消費者の皆様に、常に「安心、 安全」かつ「美味しい」商品をお届けする事です。そのため の品質保証活動として、品質管理部を中心に衛生管理を推 進しており、各工場においては、ISOやHACCP、FSSCの 取得、運用とレベルアップ、検査機器の最新化等も進める事で、 消費者の皆様からのお申し出、ご意見、ご要望にお応えして おります。

これからも私たちなりの SDGs 活動と品質保証活動の歩み を止める事なく、更に力強く進めてまいります。

> マルイ食品株式会社 代表取締役社長 栫 操







食品安全 方針

私たちマルイ食品株式会社は、グループの強みである生産から販売まで一 貫したシステムで人間力と現場力を根本に改善・維持する力を持って、安心・ 安全・信頼を共有・実践していくことで、お客様の満足度向上や信頼構築を図っ てまいります。

#### 食品安全方針

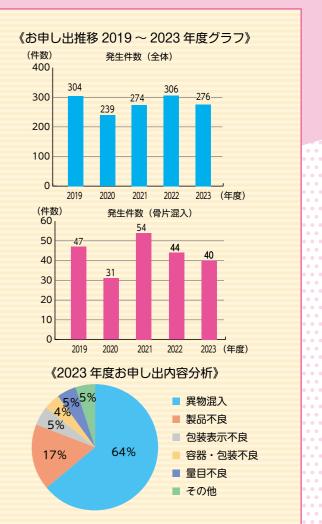
- 1. お客様へ「安心・安全・おいしい」をお届けするために、原材料の調達から食卓まで、 フードチェーン全体の品質保証の仕組みを構築します。
- 2. 「食品安全目標」を設定し、安全な製品造りを継続的に追求します。
- 3. 法律や社会のルールとお客様との約束ごとを守ります。
- 4. お客様のご意見に耳を傾け、内部・外部のコミュニケーションを密におこないます。
- 5. 定期的なマネジメントレビューをおこない、食品安全マネジメントシステムの維持・ 改善を図ります。
- 6. 安心・安全な製品をお客様に提供できるように、知識や技術の習得・向上に努めてま いります。

## お申し出に関わる取組み

お客様よりいただきました商品に関する様々 なお申し出につきましては、品質管理部が窓口 になり、特に商品に問題があった場合は、危害 性や拡散性の有無を評価し、原因の特定など迅 速な調査と回答、その対策について取組みます。

ホームページへのお問い合わせは、ご指摘い ただく内容もありますが、マルイ農協グループ で生産している南国元気鶏や鶏卵、加工食品に ついて美味しいので購入したいが、どこで買え ますか、また、生産している鶏の飼料や育て方 についてのご質問も多くいただいています。お 申し出につきましては貴重なご意見として今後 の商品づくりに活用させていただいています。

お申し出に対する分析と対策につきましては 工場と品質管理部で確認し、確実な対策となっ ているかの有効性の評価を行なっています。ま た月間と年間で集計を行ない前年度との比較や 傾向を分析し、再発防止に努めています。



#### 商品検査の取組み

安全で確かな品質の商品をお届けするためにマルイ食品株式会社で生産される、鶏卵・鶏肉・加工品 は定期的な微生物検査をグループ内、ラボラトリー室にて行なっています。

#### 鶏卵事業

洗卵、検卵後にロットご との抜き取り検査を行な 指標である「ハウユニット されます。 値」の定期的な検査を実施 しています。



#### 鶏肉事業

食鳥検査法に基づき生 体検査を実施し、検査に合 い、生卵の鮮度を確認する 格したものが、処理・加工



#### 加工事業

○商品開発時

商品開発の段階で原料・初回製造品 を検査して意図した商品に仕上がって いるか、アレルゲン物質の異常は無いか、 微生物検査逸脱はないかのチェックを しています。

○生産しながら

全製造ロット毎に品質が維持されて いるかの確認のために、微生物検査と 検食を実施し、合格したもののみを出 荷しています。

- ※微生物基準は法律より少し厳しい基準 を設定して管理しています。
- ※検食者については自社基準を設け、合 格者のみが行なっています。

## 異物混入に関するお問い合わせ

マルイ農協ラボラトリー室にて実体顕微鏡や光学顕微鏡にて鑑定を行 なっています。また呈色反応試験により鉄、たん白質、血液、でんぷん、 セルロース等の含有確認とカタラーゼ活性試験(加熱を受けているかの確 認) も行なっています。



## 異味、異臭に関するお問い合わせ

鶏肉 IQF 商品や加工食品は工場にキープサンプルを保管して います。お問い合わせの内容に基づいて同一ロットキープサン プル品の検食や微生物検査を行ない、異常は無いか、拡散性は 無いかについて確認しています。



6 マルイ食品株式会社 CSR レポート 2024 マルイ食品株式会社 CSR レポート 2024 7

### インターネットやお電話に対するお問い合わせについて

ホームページやお電話のお問い合わせにつきましては、内容に応じ て返信しています。"美味しかったので購入したい、どこで購入出来 る?" "異物混入ご指摘" "使用しているアレルゲンは何?" "飼料につ いて""鶏について"など、お問い合わせ内容を部門ごとに分けるこ とにより、より迅速にそして確実な返信ができるよう努めています。





鶏肉企画販売課



鷄卵企画販売課



#### アレルゲンに対する取組み

アレルゲンコンタミネーションに対す る取組みとして、商品の検査と工程の拭 取り検査を行ない、アレルゲン事故の未然 防止に努めています。商品については全て の商品を年に1回以上の頻度で検査を実施 しています。また加工工場で使用する計量 器具や容器についてもアレルゲンごとの 区分管理を行ない、コンタミネーション の防止に努めています。





※コンタミネーション コンタミネーションとは、「混入」の意味

#### 品質強化への取組み

6月~8月を品質強化期間として、取組みを行なっています。 この取組みは気温が上がり食中毒の発生しやすい時期に特別の取 組みを行なうことにより、品質に関する従業員の意識の向上を図 り、食中毒事故を未然に防止することが目的です。







▲社内に掲示のポスター

#### 企画書、マニュアルについて

鶏卵、鶏肉製造履歴につきましては、全て明確になっています。 鶏卵については鶏卵部門管理マニュアルを作成し、種鶏やひな、 飼料、生産者、GPセンターについて規定しています。また毎年 更新を行ない、飼養管理、生産管理の変化に柔軟に対応しています。 元気鶏についても"南国元気鶏"企画書を作成し、トレーサビ リティやブロイラー生産処理体制の定義について規定し、毎年更 新を行なっています。



#### フードディフェンス(食品防御)について

工場で働く従業員の安全と生活を守るため、またサプライヤーとしての責任を果たすために、フード ディフェンスについての取組みを行なっています。

主な取組み内容につきましては、工場敷地の管理、工場内施錠管理、安心カメラの設置、従業員につ きましても、ご意見箱設置、従業員面談、慰労会や、レクリエーションなど、明るく楽しい職場環境と なっています。







ご意見箱

球技大会

安心カメラ

※フードディフェンス

計画的な、または故意による意図的な攻撃(食品汚染等)から食品を守るための手段

#### ISO、HACCP 認証について

安心・安全な商品をお届けするために、鶏卵(GPセンター)、鶏肉処理工場では HACCP 手 法を取り入れた製造管理を行なっています。また鶏肉加工品や、加工品製造工場は、国際認証の FSSC22000、ISO22000 を取得しています。

ISO、FSSCの国際認証を取得し運用することで、顧客満足と食品安全に努めています。

・マルイ食品出水 GP センター HACCP (2019年10月15日取得)

・マルイ食品大口工場

・マルイ食品調味料工場

・マルイ食品高尾野工場

・マルイ食品松尾工場

・マルイ食品しらぬい工場

ISO22000 (2022年11月11日取得)

ISO22000 (2011年4月26日取得)

FSSC22000 (2017年5月15日取得) ISO22000 (2017年9月25日取得)

ISO22000 (2017年10月12日取得)

・マルイ食品米ノ津工場

ISO22000

(2021年7月14日取得)









私たちマルイ食品株式会社は、鶏の命を扱う企業として「生きものの命の大切 さ」を働く仲間全員が認識し、「いのち」と「自然」が調和しつづける社会を目 指して事業活動における環境への影響の予防と低減に取り組みます。

## 低炭素社会を目指して







#### 環境啓発活動

従業員一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるよう、環境方針を全従業員に周知するとともにホームページ上に公表しています。

#### 環境方針

- 1. 鶏卵・鶏肉の処理・販売や加工食品の開発・製造・販売に際し、資源・エネルギー (電気、ガス、重油等)の節約、再資源化、再資源利用等を推進し事業活動全 体での省資源・省エネルギーに努めます。
- 2. 環境に関連する法規制や自治体との協定、地域や業界団体などとの同意事項を遵守するとともに、必要に応じて自主基準を定め遵守します。
- 3. 目標と達成の施策を明確にし、進捗状況を定期的に確認することにより、改善・ 強化を図ります。また、毎年経営者により環境方針、環境目的・目標の妥当 性を確認します。
- 4. 環境問題に関して、組織のために働く全ての人々に対し教育を行ない、意識を高めるとともに会社だけでなく地域においても環境保全活動の取組みを促します。
- 5. 環境方針をホームページに掲載するとともに、各事業所に掲示します。

2011年10月1日 マルイ食品株式会社

#### 省工ネ委員会

環境方針をもとに、省エネ委員会を開催しています。委員会はエネルギー管理統括者を中心に各環境委員で構成され、事業本部ごとに推進委員会を組織し、省エネルギー、省資源化に努めています。 ※対前年度比 1%削減を目標に取組みを行なっています。

#### 《エネルギー原単位推移》









#### 再生可能エネルギーへの取組み

環境への取組みとして工場の屋根に「太陽光発電システム」を導入しています。無限でクリーンな太陽のエネルギーを活かし、脱炭素社会実現に向けた取組みを行っています。

2021 年度より、GPセンターへ「自家消費型太陽光発電システム」の設置を行ないました。



2023 年度年間発電量実績 911,148 kWh

#### 食品残渣リサイクル~資源への循環

工場から日々発生する食品残渣、もともとは衛生的な材料です。これらは全て専門業者にお願いし、発酵させ「堆肥」へとリサイクルされ、新しい資源に生まれ変わります。また加工工場で毎日大量に使用されるフライヤーの油につきましても還元装置を導入し使用量の削減に努めています。





2023 年度年間食品廃棄物の総量 715トン そのうちリサイクルされた量 715トン (100%)

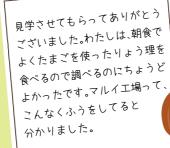
10 マルイ食品株式会社 CSR レポート 2024 マルイ食品株式会社 CSR レポート 2024 11

## 地域貢献について

#### 工場見学について

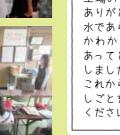
地元の企業や食べ物についての理解を地域社会により深めてもらえるよう、小・中学生を中心に社会科見学の一環として工場見学の受入れを実施しています。 ※ 2023 年度は、96 名を受入れました。











マルイ工場のみなさんタマゴ 工場のことを教えてくれて ありがとうございました。 水であらうきかいできかいが あってとてもびっくり しました。 これからもいろいろな しごとをがんばって ください。 タマゴにもしゆるいがあるのを 知らなかったです。たしか赤色の タマゴがボリスブラウン白色の タマゴがジュリアライトでした よね。いろいろなことをおしえて くださって本当に ありがとう ございます。

## 職場体験学習の受入れについて

工場では中学生、高校生の職場体験学習を受入れています。 受入れ人数は多くはありませんが、働くことの意義や社会の ルールを学ぶ機会として、また地元企業の認知や理解を深め てもらうために、受入れを行なっています。



#### 海外実習生の受入れ

食鳥処理場や加工工場ではベトナム、ウズベキスタンからの外国人技能実習生の受入れを行なっています。専用の宿舎を完備し、工場のルールから衛生管理、日本語をしっかり学んだ後に、各工場で実務の教育を行なっています。工場のイベントにも参加してもらい、日本の文化や日本を好きになってもらえるよう交流を深めています。

## 技能実習生在籍数(2024年2月末現在)

(とひと「十と)」が多い上)			
野田工場	87名		
野田第2工場	26名		
高尾野工場	19名		
米ノ津工場	6名		
松尾工場	23名		
しらぬい工場	13名		
습 함	174名		





#### たまご学習会

マルイ農協グループでは"たまご"についての学習会を地元の小学生にむけて開催しています。学習会では、たまごの赤玉と白玉の違いや、構造やエサについて、農場からGPセンターで処理されるま

での流れについてなど児童 たちに分かりやすく説明し ました。







#### 障害者雇用について

マルイ食品株式会社では障害のある人が、その能力と適性に応じて一般の人と同様に働ける社会の実現を目指して雇用を促進しています。2020年度には、その功績が認められ、「障害者雇用優良事業所機構理事長表彰」を受けました。

#### マルイふるさと文庫活動報告

地域貢献事業として事業所のある近隣の全ての小学校へ、合わせて 6,000 冊の本を贈る取組みを 2020 年度より企画しています。 2023 年度は小学校の 6 校に合わせて 529 冊の本を贈りました。



## 健全な職場環境の維持・推進について

#### 保育所の開設について

マルイグループでは企業主導型保育事業として"マルイぴよぴよ保育園"を2019年5月に開園しています。マルイ食品株式会社の従業員のお子様や地域のお子様についてもお預かりし、働くパパ、ママの就労支援を行なっています。



### コンプライアンス体制と委員会の開催について

コンプライアンスを経営の重要課題の一つとして位置づけ法令等の遵守を重視した経営を行なっており、お客様及び地域社会からの信頼を得ていくために全従業員がコンプライアンスの実践に取組んでいます。

コンプライアンス委員には外部委員も招集し、自主的なコンプライアンス活動を実践するために事業 部ごとに取組みを行ない、年に2回コンプライアンス委員会を開催し、報告を行なっています。

#### 鶏魂祭

私たちの事業は鶏によって成り立っています。

鶏の命を扱う企業として鶏に感謝し、その供養のために毎年秋に鶏魂祭を行なっています。鶏魂祭にはマルイグループ代表をはじめ多くの関係者が参列します。2020年~2022年までは、新型コロナウイルスの影響により関係者のみとなっておりましたが、2023年度よりこれまでどおりの開催となりました。



12 マ<mark>ルイ食品株式会社 CSR レポート 2024</mark>

行動指針

私たちマルイ食品株式会社は、高い倫理観に基づいた誠実な企業行動、また、役員・ 従業員一人ひとりが企業人として高い倫理観を持ち、行動することを実行してまい ります。





## マルイのSDGsへの取り組み

SUSTAINABLE GOALS





SDGs は 2015 年 9 月の国連サミットで 採択されたもので、国連加盟 193 か国が 2016 年~ 2030 年の 15 年間で達成する ために掲げた目標です。マルイ食品株式 会社もSDGsの持続可能な目標達成の ため取組みを行なっています。

## 飢餓のない世界を目指して





### レッドカップキャンペーンの取り組み



マルイ食品株式会社では「世界の恵まれない子供たちのために何か支援できることはないか」と考え 2013 年度より国

連 WFP 協会 (国際連合世界食糧計画 WFP 協会) が主催する学校給食支援「レッドカップキャンペーン」に参画しています。

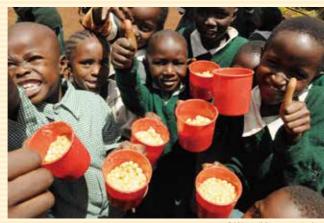
フットカップキャ **2023 年度の寄付金** 回しています。 参画し、一人で **2 770 707** 

今後も引続き参画し、一人で も多くの子供たちに笑顔を届け られるよう応援してまいります。

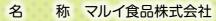




2013年4月~2024年3月までの 寄付金総額 **27,379,429**円



©WFP/Marcus Pric



所 在 地 〒899-0297 鹿児島県出水市平和町225番地

社 長 栫 操

設 立 1975年10月1日

資本金 100,000 千円

従業員数 1,361名(2024年2月末)

年間売上 約382億円(2023年度)

鶏卵事業部 134 億円

鶏肉事業部 141 億円

加工事業部 107億円

事業所出水GPセンター

野田工場

野田第2工場

大口工場

調味料工場

高尾野工場

米ノ津工場

松尾工場

しらぬい工場

冷蔵倉庫

営 業 所 出水営業所

鹿児島営業所

熊本営業所

宮崎営業所

北摂営業所

京都営業所

加古川営業所

堺営業所

東日本加工食品販売課

中部近畿加工食品販売課

西日本加工食品販売課















#### マルイ農業協同組合

〒899-0297 鹿児島県出水市平和町225番地 TEL 0996-63-0101 FAX 0996-63-7662

#### マルイファーム株式会社

〒899-0217 鹿児島県出水市平和町264-1 TEL 0996-63-0425 FAX 0996-63-0040

#### マルイ飼料株式会社

〒899-0202 鹿児島県出水市昭和町59-5 TEL 0996-62-2434 FAX 0996-63-2363

#### マルイ食品株式会社

〒899-0297 鹿児島県出水市平和町225番地 TEL 0996-63-1111 FAX 0996-64-1234

#### マルイ運輸株式会社

〒899-0121 鹿児島県出水市米ノ津町56-69 TEL 0996-67-3911 FAX 0996-67-3984

#### マルイ事業協同組合

〒899-0297 鹿児島県出水市平和町225番地 TEL 0996-63-0101 FAX 0996-63-7662

QR コードよりマルイ農協グループの ホームページをご覧いただけます。

https://www.marui.or.jp



